

令和元年度 東淀川区区政会議 魅力あるまちをつくろう！部会 会議録

1 日 時 令和元年6月24日（月）19:00～20:45

2 場 所 東淀川区役所 3階 304会議室

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 健康・福祉部会委員）

中井 まひる副議長、岩本 敬子委員、佐野 一廣委員、乗上 永枝委員、
森田 敏広委員、山口 啓行委員

（大阪市会議員）

長岡 ゆりこ議員

（東淀川区役所）

前田地域課長、畠山総合企画担当課長、川上総務課長、吉岡窓口サービス課長、
古川地域課長代理、福田地域課担当係長、藤井総務課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）平成30年度東淀川区運営方針 自己評価

（2）今後の取組みの方向性について

（3）その他

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○福田係長 それでは、人数がそろいましたので、ただいまより、令和元年度第1回東淀川区区政会議 魅力あるまちをつくろう！部会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、また夜間にも関わらず、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

本日の司会進行を勤めさせていただきます東淀川区役所地域課担当係長 福田でございます。よろしく願いいたします。

今回は、年度が代わって初めての部会となります。4月の人事異動で区役所担当者も替わっておりますので、初めに新しく担当となった職員のみを順にご紹介をさせていただきます。

○前田課長 こんにちは。地域課長の前田でございます。よろしく願いいたします。

○福田係長 改めまして、地域課担当係長 福田でございます。

よろしく申し上げます。

それでは、開会にあたり、地域課長の前田よりごあいさつを申し上げます。

○前田課長 皆様方には、日ごろより区政の各般にわたりましてご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼を申し上げたいと思います。

先ほど福田のほうも申し上げましたけれども、本日もこういう夕方に出にくい時間帯、しかも一日のお疲れのあるところ、このようにお集まりいただいて誠にありがとうございます。先般、学習会をさせていただきましたので、少しその内容をご案内しながら、ご挨拶させていただきたいと思います。

先般の学習会では、大学連携や魅力発見プロジェクト、それから東淀川みらいEXPOといった事業、また、他の部会の状況について情報の共有を図っていただきました。その中では、この区政会議によって地域活動をするに当たり、「みずから動いていかなければいけないというふうな考えを持ったよ」というお話であったりとか、「大学連携、区役所の取り組みについてはまだまだ知らないことが多いね」と、「地域と大学、高校も含めて意見を交換できる場が増えてほしいな」と、「魅力発見に関するSNS等の発信が少ないのではないかな」と、こういったご意見をいただいたところでございます。

今年度は10月に委員の皆様の改選を控えております。本日お集まりの皆様の顔ぶれでの部会というのは、これが最後となります。本日は平成30年度の運営方針の自己評価、今後の取組みの方向性について、いろいろと活発なご議論をいただきたいというふうに思っております。

なお、7月23日開催予定の本会は、部会を同時開催するというのではなく、本会のみということになりますので、本日は部会でのご意見をいただくとともに、本会での報告内容をおまとめいただきたいと考えております。

スケジュールがタイトでございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○福田係長 次に、本日ご出席の市議員の方のご紹介をさせていただきます。

長岡議員です。

○長岡議員 よろしくお願いいたします。

○福田係長 議員の皆様に関しましては、条例の規定により区政会議に出席し、必要な助言をすることができるかとされておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日の定足数の確認をいたします。

本日は5名の部会委員にご出席いただいており、出席者数が委員定数9名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。

本日の議事録につきましては、区政会議の委員の定数の基準及び会議録等の公表等に関する規則の規定に基づき、発言者ごとの氏名とその発言内容を記載した議事録により、後日公表させていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。会議録（案）ができました

ら、本日発言いただきました委員の皆様には発言内容をご確認いただきたいと思います。次回、本会議にお渡しさせていただきます。

続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、本日配付しています令和元年度第1回東淀川区区政会議魅力あるまちをつくろう！部会と書かれました本日の議事次第がありますでしょうか。

次に、その裏面の出席者名簿及び配席図はございますでしょうか。

続きまして、6月初旬に郵送させていただいております資料をご持参いただいておりますでしょうか。

右上に送付資料1と書かれております平成30年度東淀川区運営方針自己評価（概要版）はございますでしょうか。

次に、送付資料2、平成30年度運営方針の達成状況はございますでしょうか。

次に、送付資料3、平成30年度区政会議での意見へのフィードバックはございますでしょうか。

次に、送付資料4、区民アンケート結果はございますでしょうか。

次に、送付資料5、スケジュール、部会別委員名簿はございますでしょうか。

最後に送付資料6、東淀川区区政会議委員評価シート（部会別）、黄色い紙の分ですね、ございますでしょうか。

黄色い紙の資料6につきましては、ワークショップのほうで後ほど使用させていただきます。事務局から説明時に、メモがわりにお使いいただきますようお願いいたします。

それでは、ここからは中井副議長に進行をお願いいたします。

○中井副議長 副議長の中井です。本日新庄議長が欠席ということで、かわりに議長を務めさせていただきます。

それでは初めに議題1、平成30年度東淀川区運営方針自己評価、議題2、今後の取組みの方向性について、区役所からご説明をお願いいたします。

○前田課長 地域課長の前田でございます。

今ご紹介いただいたとおり、議題1の運営方針自己評価につきまして、お手元の送付資料1、平成30年度東淀川区運営方針自己評価の資料と送付資料2、平成30年度運営方針の達成状況、この2つの資料を用いましてご説明させていただきます。座って報告させていただきます。

まず、送付資料1、平成30年度東淀川区運営方針自己評価のほうでございます。

まず、1ページ目でございますように今のタイトルのすぐ下に区の目標「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現という区の目標を掲げてございます。東淀川区ではこの目標を実現するために、この下に書かれています5つの経営課題に取り組んでいるところでございます。

この魅力あるまちをつくろう！部会におかれましては1番の自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまちという課題、それともう一点、5番、区民の役に立つ区役所があるまち、この2つの課題につきましてご議論をいただくこととなります。

まず、資料の見方でございます。

1ページをめくっていただきまして、2ページと書かれている面でございます。

左の1番上のところに経営課題1-1、自助・共助を担う地域力のあるまちと書かれていますので、このページにはこの経営課題1-1についての自己評価を掲載させていただいているところがございます。

この経営課題1-1を達成していくために、その下のアウトカム、これは3年から5年の中長期的な目標を掲げているところがございます。この目標を達成するために、その1つ右側、検討項目というカテゴリー分けをしまして、そのもう一つ右隣、具体的取組、これは単年度の実施の中身ということに掲載させていただいております。そしてもう一つ右隣のプロセス（過程）指標というのは、この30年度の取り組みの目標ということを掲げてございます。そして一番右端が、この30年度取り組んできた結果、振り返りの結果を掲載させていただいている、こういうふうな構成になってございます。

今回、これをまた中身をご説明するんですけども、あわせて送付資料2のほうもごらんいただきたいと存じます。

まず、送付資料2の平成30年度運営方針の達成状況（概要）という部分でございます。ちょうど表紙の真ん中あたりに黒い表を掲載しておりますけれども、この評価から5つの吹き出しを出しております。達成状況であったり戦略の進捗状況、戦略のアウトカムに対する有効性、アウトカムの達成状況、有効性というような5つの視点から、昨年度30年度の取り組みを評価した結果をまとめたのがこちらの資料になります。

それでは、この送付資料2のほうをあけていただきまして、見開きになったところの左の上の表、こちらのほうが経営課題1の結果をまとめたところになっておりますので、これと先ほどごらんいただいております送付資料1の中身とあわせながらごらんいただきたいと思っております。

では送付資料1の2ページでございます。

先ほど申し上げましたように、こちらは経営課題1-1、自助・共助を担う地域力のあるまちというのを課題としております。この中の評価につきましては、本年の2月にも一定のご報告を差し上げておりますので、そこからの変更点を中心にご説明させていただきたいと存じます。

この表の1番右側、30年度自己評価のところでございます。振り返り結果のところなんですけれども、一番上の62.8%と書かれたところは、前回にもご報告をしております、その次の下にあるプロセス、地域活動協議会を知っている区民の割合を35%以上というのを目標といた

しました。振り返り結果につきましては、集計したところ、35%ということで辛くも達成したという状況になってございます。

同じくプロセス指標の下から3番目、地域担当職員における支援が役に立っていると感じる地域活動協議会の割合を、86%以上という目標を立ててございました。集計した結果、こちらは76.5%、17地域のうちの13地域からはそのように回答いただきましたので、目標は達成できなかったということになります。パーセンテージのすぐ下に四角の太枠で囲んだところがございますけれども、今後、地域連絡会、これは区役所と地域の代表者様との会議でございませぬけれども、そういった場も活用しながら、地域担当職員の役割を地域のほうへ周知してまいりたいと考えておるところでございます。

左のほうに戻っていただきまして、アウトカムでございます。中長期的な指標を3つ、黒丸であらわしておきまして、この上のうちの1つ目のことにつきましては、前回もご報告しております。目標としては平成31年度末までに17地域全域が感じていただくということですが、これは17地域分の5という結果になっております。今回2つ目の黒丸、新たな参加者、担い手がふえたと感じられる地域、こちらは平成31年度までに17地域、全地域に感じていただきたいというふうな目標になっていたんですけれども、集計した結果、17地域分の10地域という結果に終わっております。全体的には、なかなかこの中長期的な指標を達成するのが順調にいけないというふうに評価をしているところでございます。

この個別の評価を受けまして、見開き開いていただきました資料2の左側、上のところの表でございます。黒い網掛けがかかったところには経営課題1、自助・共助を担う地域とにぎわいのある元気なまちと書かせていただいて、そのすぐ下、戦略1-1、これが先ほどのページの左の上と同じなんですけれども、そのうちの3つの具体的取り組み、1-1-1、地域活動協議会を中心とした地域活動への支援、ここは、具体的な取り組みの達成状況を②の(i)としております。この②の(i)というのは、目標を達することができなかったけれども、取り組み自体は実施しましたというのが、この②の(i)ということになります。ただ、目標は達しておりませぬけれども、この取り組み自体は有効であったと考えておりますので、丸をつけさせていただきます。

次の1-1-2、地域担当制による協働のまちづくり、こちらにつきましても、先ほどの分析の結果をとらまえまして、やはり②の(i)取り組みは行ったけれども目標に達しなかった、事業の有効性はあるという判断をしております。

そして1-1-3、区地域保健福祉計画に基づく地域の取り組みへの支援でございます。こちらも同様に②の(i)、目標には達しなかったけれども取り組みは実施したということで書かせていただいております。

そしてこの1-1全体につきましては、この戦略の進捗状況につきましても、アウトカムの

達成状況につきましても、先ほど申し上げましたように順調でないということでございますので、Bという表現にさせていただいております。ただこの取り組み自体は順調には進んではおりませんが、取り組み自体は有効であると思っておりますので、今後も継続して推進していきたいというふうに考えているところでございます。

では、引き続きまして、経営課題の1-2のほうをご説明させていただきます。

送付資料1の3ページ、ごらんになってください。

こちらのほうも同様に、課題1-2、にぎわいのあるまちということについての自己評価を掲載しております。具体的取組のところの東淀川区魅力発見プロジェクトにつきましては、前回、実施の回数を会議11回、イベント3回とご報告をしたところでございますが、その後も会議の開催、イベントを実施いたしましたので、最終的には会議を13回、イベントを6回開催したということでご報告させていただきます。

あと一番右側の振り返り結果でございますけれども、まず、プロセスの指標で、「地域のまちづくりに関する活動が、地域・企業・教育機関・行政等々様々な活動主体の連携によって進められている」とお答えいただく区民の割合を75%を目標としておりました。集計したところ、少し割合が上がりまして85%というお答えをいただきましたので、ここは目標を達成したなど考えております。

プロセスの下から2番目、東淀川区の歴史やスポットについて知っている区民の割合、これは60%以上というのを目標に掲げておりましたが、集計結果は残念ながら34.9%ということで、なかなか達成していないという状態になっております。現在は転入してこられた方々にいろいろな内容をご紹介する転入者パック、こういったチラシの内容を見直していったり、区役所内にスポットを紹介するコーナーなどを設置して、また、周知を進めていきたいというふうに思っております。

左端、アウトカムに戻りまして、こちらのほうは東淀川区は様々な魅力を活かし、多様な主体が連携したまちだと感じる区民の皆様の割合を、平成31年度末までに70%以上というのを掲げてございます。ただ、今のアンケートの結果では29.5%、順調でないという状態になってございます。

この個別の結果を踏まえまして、先ほどの資料2のほう、見開きの左側の上、下半分の戦略1-2、にぎわいのある元気なまちのところに反映をしております。

この中の1-2-1、新たな担い手の発掘支援と地域・企業・教育機関・行政の連携による魅力あるまちづくり、これにつきましては先ほど85%というご回答もいただいていることから、事業も実施しておりますし、目標も達成したということで①の(i)とさせていただいております。

1-2-2、まちの魅力発信につきましては、アンケートの結果にもありますように目標は

達せられておりません。事業は実施しましたが、目標は達成していないということで②の(i)、戦略の1-2-3、区民による西部地域まちづくりにつきましては、これもアンケート結果、目標を達成しておりますので①の(i)とさせていただき、それぞれの取り組みについては有効であるという判断をして丸をしております。

全体的な戦略の進捗状況、アウトカムの達成状況につきましては、全体的に申しあげましたように順調でないということでBと掲げさせていただいておりますけれども、こちらのほうも継続して取り組んでまいりたいと、有効性はあるということでAというふうに書かせていただいております。

経営課題1につきましては、以上でございます。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

私の方からは、経営課題5につきましてご説明いたしたいと思います。

送付資料1の11ページをごらんください。

それと、送付資料2につきましては最終ページの皆さんの集合写真がある欄をごらんいただきたいと思っております。

まず、区民等の参画による区の特성에応じた区政運営の推進につきましては、前回2月部会から変更はございませんので、見ていただいたとおりとなっております。振り返り結果として一部、区政会議委員の42名へのアンケートの結果、36名の回答で、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じる委員の割合が100%ということでしたが、94.5%となっております、これは未達成ということでございます。

それと変更があった点につきまして、広聴相談・総合窓口の機能の充実というところでは、日常生活に関する相談や要望を行った際に、区役所が区民に身近な窓口として適切に対応したと感じる割合が80%というところでは70.3%という数値が出ておまして、これについては未達成ということで、市民の声、事例の庁内共有等を進めることで、各課における接遇改善や業務知識の強化を促していくということにしております。

それで左側の部分のアウトカム、中長期的指標につきましては、プラン2.0で39.7%ということで、40%以上ということ掲げておりますので、これについては順調とし、それとPDCAサイクルを意識して業務に取り組んでいる職員の割合ということでは、31年度までに85%ということで、これについては30年度で84.7%ということで、順調には推移しておると判断しているところです。

これにつきまして資料2の5-1の区民ニーズを的確に把握し反映する住民参画型の区政運営について、それぞれ具体的取り組みの達成状況、有効性について掲載してございまして、戦略の進捗状況についてはbとなっておりますが、アウトカムの達成状況につきましては先ほども申しあげましたように順調というところで、Aといたしまして戦略の有効性はあるということで

判断してアとしております。

続きまして、12ページになります。

これについて区民が必要とする情報発信の強化というところでございます。

プロセス（過程）の指標といたしましては、平成30年度末のSNSフォロワー等の数ということで前年度比12%増ということで、これについては59.2%の増ということで達成しました。これにつきまして要因としては、災害が非常に多かったというところもあって、情報を取りたい区民の方々のフォロワーがかなりふえたということになってございます。

それと、次の行動につながる情報発信力の強化につきましては、区役所の広報をきっかけに誰かに情報を伝えたり自身の考えを見つめ直したり必要な手続を行うなど、何らかの行動を起こしたことがあると答える区民の割合を30%としておりまして、これについては数値が出た部分につきましては22.7%となっております。

これについて、取材記事の対象となった各事業を紹介するホームページに取材記事の内容を掲載し、より長期的に多くの方に向けて行動につなげる広報の記事を発信していきたい、なおかつSNSのフォロワー数の増加にも努めてまいりたい。

令和元年度の目標修正としては30%、というのはちょっといきなり22.7%の部分でいうとかなり差があるということで、25%としてやっていきたいということにしております。

これの中長期的な指標としてアウトカムとしては、31年度までに50%というところで、今現在36.1%ということで順調でないという判断をしているところです。

これについても資料2を見ていただきたいと思います。伝えて、行動につなげる情報発信力の強化というところでは、区民が必要とする情報発信の強化という部分では達成したということで○となっております。ただd、行動につなげる情報発信力の強化はどうであったかという部分については②ということで達成していないということ、それと戦略の進捗状況bというところですので、これについては順調でないという判断をしているところです。しかしながら、戦略の有効性としてはきっちりやっていきたいということで、有効性はあるという判断をして、継続的に取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、経営課題5-3のところでございます。13ページになります。

これにつきましては、プロセス（過程）の指標で、待ち時間を快適に過ごせたと感じる方の割合が80%ということで、来庁者アンケート有効回答が233名のうちということでは、81.6%という数字が出ましたので達成ということになってございます。

それと下の区役所来庁者に対するサービスの格付け結果において、区役所来庁者サービスの調査・評価結果のうち、窓口サービスエリアの評価、3.0以上ということで、3.3ということで達成となっております。これによりましてアウトカムの中長期的指標におきましては、ここに掲載していますように、2020年度までに来庁者アンケートで、本日のサービスについて満足

していると答えた区民の割合が80%以上というところで、96.0%ということで順調に推移しており、しかも越えておるというところで判断しているところです。

これにつきましても、資料2をごらんいただきたいと思います。これについては達成しておりますので、全部①なり(i)、○、a、A、アという形になってございます。

次に14ページをごらんください。

これについて、着実な事務処理、コンプライアンスの確保等の取り組みというところでは、ここにプロセス(過程)指標に書いていますように、不適切な事務処理の発生件数ゼロに対して5件ということで、最終5件になりました。これについて、ここへ掲載しております。

それと、次のプロセス指標の下の段の真ん中、区役所来庁者に対するサービスの格付け結果について、星2つ以上ということで、星2つで達成という形になってございます。これについて、前回お示しできていない部分ですのでよろしく申し上げます。

これによりまして5-4、資料2のところ、一部達成できていない部分もありますけれども、戦略としては有効ということで判断いたしておりますのでご確認ください。

それと次のページ、市政改革プラン2.0に基づく取組になってございまして、これについては、大阪市の市政改革プラン2.0の取組で大阪市全体として掲げている目標となります。目標数値については市統一の数値でありますし、各区がそれぞれ前年度実績に基づき実施している数値もでございます。平成29年度から今年度までの3カ年で取り組んでいる内容でございます。細かい部分については、説明は割愛させていただきたいと思います。

○前田課長 そうしたら次は、送付資料2の表紙にお戻りをいただきたいのですが、この表紙のほうには、先ほどそれぞれ個別の取り組みについて有効性等の判断を申し述べたんですけれども、自己評価それと課題と改善方法についてまとめてございます。かいつまんでご説明をさせていただきます。

まず、自己評価につきましては、具体的取り組みレベルでは、約3分の1の目標が未達成項目ということになってございました。全体的には計画どおりに取り組みを実施し、順調に進捗しているとは感じています。

地域力、まちづくりにつきましては、地域活動協議会の支援、情報発信、つながりの場づくりを軸に取り組み、担い手の負担感の減少に努めてまいりました。東淀川みらいEXPOの開催、魅力発見プロジェクト、大学連携事業等の取り組みによりまして、区の魅力発見や東淀川区に興味を持つ人々が集まってきているという実感はございます。今後とも担い手の発掘につなげてまいりたいと考えております。

なお、情報発信力の強化につきましては、特にSNSを活用した情報発信に力を入れて取り組み、登録者数が大幅に増加いたしております。災害時等に即時性が高い情報を届けることができましたので、今後もSNS登録者の増加に務めるとともに、まだこういったことが使用で

きない世代へのアプローチを検討してまいりたいと思っております。

課題と改善方向についてでございます。

地域活動について、情報発信を強化しているものの、地域とのかかわりが薄い層を取り込んでいくレベルには至ってございません。さまざまな情報に触れる機会を少しでもふやしていき、新たな担い手の発掘、充実に中長期的に取り組んでいく必要があると感じています。

また、把握した区民ニーズにつきまして、その都度対応はしておりますが、その対応方針等について組織的に共有できていないというところもございますので、区長マネジメントのもと、職員全員が組織目標等を共有して意識の向上を図っていく、こういった方向で取り組みたいと考えております。

資料2につきましての説明は、以上でございます。

次に、議題2のほうとしまして、今後の取り組みの方向性について、皆様にご議論をいただくんですけども、ご議論の前に参考資料として送付資料3と送付資料4、こちらについてご説明させていただきたいと思っております。

送付資料3、平成30年度区政会議での意見へのフィードバックという横長のホッチキスどめの資料でございます。こちらのほうは、平成30年度1年間の区政会議を通じて、区政会議委員の皆様からいただいた意見への対応方針をまとめたものになってございます。その都度、区政会議の場を通じてフィードバックさせていただいたつもりでございますが、その総まとめということになってございます。

この表の一番右端のところには、運営方針の対応箇所ですね、この番号の課題に対応しているということと、予算の措置について記載をしております。

このフィードバックの並びにつきましては、運営方針の記載順となっておりますので、当部会でご参考にいただきますのは、1から3ページ、それとちょっと飛びまして13ページ、これが経営課題1と経営課題5の部分になってございます。この後のワークショップの際の参考資料としていただけたらと存じます。

続きまして、送付資料4でございます。

先ほども運営方針のアウトカムであったり、業績目標の指標についてのアンケート等の数値をご案内させていただきました。そのアンケートがどういうものであったかというのが、この資料4になります。

表紙のところに書いていますように、調査の概要といたしましては、平成30年12月26日から平成31年1月15日の間に、無作為抽出をした東淀川区民の皆様1,500人の方を対象に郵送でお問い合わせをさせていただいております。回答数は383ということになってございます。

質問項目につきましては、1枚めくっていただきまして裏面です。質問一覧表ということを書いてございまして、全問21までの部分をお問い合わせをさせていただきました。

健康福祉であるとか防災減災、住みやすさ、地域活動、教育・子育て、情報発信等についての調査をさせていただいております。

具体的な回答につきましては、この後、3ページ以降に掲載しておりますので、ワークショップ等での参考にしていただけたらと思います。

1ページ、表紙に戻っていただきまして、調査結果の概要を幾つか紹介をさせていただこうと思うのですが、概要の9番目、問12、様々な地域活動をしている方に対し、あなたは、どのように思われますかという問い合わせに対する答えをまとめたものでございます。

連携、協働してさまざまな活動をしている方々に対し、活動に参加している、または活動に参加したい、または応援したいというふうに思っている方は8割あるということがわかりました。その次のちよぼでございすけれども、これは問13に該当する部分です。問13の中身はと申しますと、先ほどの問12でどんな活動をしていますかとかお聞きしたときに、現在は活動していないとお答えいただいた方に対して、その理由をお尋ねしたものです。理由としましては、現在地域活動に参加できないのは、時間がないというのが半数を占めておりますが、中にはどうやって参加するのかわからないという方も16.8%いらっしゃったという結果になります。

最後に一番下の欄、ここは問20に対応する答えでございす。問20は、区役所ではLINEやツイッター等のSNSを用いて災害時における緊急の情報や区内のイベント情報について発信していますが、ご存知ですかという問いかけをさせていただきました。そのお答えとして、LINEやツイッター等のSNSを用いた情報発信を登録していただいている方は2割から3割、全くご存じないという方は8割を占める、こういった結果がございました。

また、この資料等をワークショップの参考にしていただけたらと思います。

あと、この後、ワークショップでご議論いただくんですけども、最初に福田のほうからもご説明を申し上げましたが、送付資料6でございす。こちらのほうは、東淀川区区政会議委員評価シートということになってございまして、当部会で取り扱っていただく経営課題1と5について、それぞれこの平成30年度区政の取り組みの評価をしていただきたいと思います。その評価した理由と今後の方向性についてもご記載いただき、今後のご議論に生かしていただけたらと思います。

ご説明長くなりましたが、以上でございす。よろしくお願ひいたします。

○中井副議長 ありがとうございます。

では、ただいまご説明いただいた議題1、平成30年度東淀川区運営方針自己評価と議題2、今後の取組みの方向性の参考資料を踏まえまして、皆様からご意見を賜りたいと存じますが、内容についてより活発に議論していただくために、今回は一旦部会を休会にし、ワークショップによる意見交換をしていただきたいと思います。

話し合っていたいただきたいテーマは2つです。

30年度自己評価に基づいた課題について、が1つ、2つ目は、今後の取組みの方向性となります。ワークショップ用シートを使って進めてまいります。こちらの黄色い用紙になります。

ワークショップのご意見ややりとりをまとめていただき、区政会議再開後、各班より発表していただきます。今回は人数が全員ではございませんので、1つの班で進めさせていただこうと思います。

ここで区政会議魅力あるまちをつくろう！部会は、一旦休会とさせていただきます。

8時10分ごろ、再開を目標にしておりますので、ご協力お願いいたします。

(休 会)

○中井副議長 それでは、これより区政会議を再開いたします。

出された意見について、発表者の方からまとめて発表いただきます。

会議録のことがございますので、まず、お名前をおっしゃっていただいた上でご発言いただきますようお願いいたします。

○佐野委員 では、発表いたします。公募委員の佐野でございます。

今回議論いたしまして、経営課題1-1におきましては、区民まつりに関しての議論が出ました。ここは9月に開催予定でございますけれども、この区民まつりにはほかの何か代替できるものがあつたほうがいいのではないかとといった意見も出ております。

経営課題1-2につきましては、現在区の魅力発見プロジェクトというのが推進されておりますが、これは区役所の協力もあり、活発に今実施されているということ、さらにこの魅力発見プロジェクトに限らずこういったことに参加したい、協力したいという方が80%以上もいらっしゃるということで、そういった方々を何とかこういったことに協力を得られないかと、そういった意見が出ております。

経営課題5-2にいけます。

ここにおきましては、皆さんの意見として情報発信というキーワードが非常に強くあります。今回災害、特に昨今では防犯ですね、非常に身に迫るような事件が起きたということで、皆さんの意識が高まって非常にフォロワー数が大きくなったということで、こういった情報以外に限らず年代別にどのような情報を発信したらいいのかというのを、今後深めていって、それぞれの年代に応じた情報発信をすることで区役所からの情報が非常に行き渡るような、そういったことになればよいかということでございます。

経営課題5-1につきましては、これははぐくみ、生涯学習の窓口につきましては、また、検討いただきたいということでしたので、そういった議論があつたということをおし添えておきます。

以上でございます。

○中井副議長 今発表者から意見を出していただき、また、その意見についてホワイトボードに附箋が貼られています。これから7月の本会で議長報告をする案件としましては、意見をさらに集約していきたいと思います。重要な意見と思われるものを7月の本会で議長報告したいと思います。

これは、というものについて、ご意見をお願いいたします。ありますか。

ワークショップで十分にご意見が交わされたということで、ありがとうございました。

では、本会で議長報告する案件としましては、まず、3つに絞らせていただこうかなと思います。

1つ目はSNSでも非常に周知が広がっているということで「情報発信」、これが1つ目ですね。昨年の台風や地震の発生被害について今地域担当職員の皆様も中心的に取り組んでおられるというところで「防災」、これが2つ目のキーワード。3つ目のキーワードとしましては、SNSでも情報発信が広まっているということと、地域活動に興味を持つ方がアンケートの結果8割近くに上っているという数値を得まして、「魅力的な催し」を開催していこうという部分が3つ目のキーワードとして設定させていただこうかなと思います。

これに対しまして区役所よりご意見や補足、反映などの対応方針などをご説明いただけますでしょうか。

○前田課長 たくさんのご議論いただいて、大変ありがとうございます。

今副議長のほうから本会で発表するところの3つのテーマに絞っていただいたところでございます。

SNS等を使った情報発信のあり方、一定の効果はあったけれども、まだもっと精査をしていって、それぞれのテーマ別といいますか世代ごとにも響いていくということが、さらに発信力を強めていくものじゃないかなというご意見をいただいたと思っております。いろんな分析も踏まえまして、また、効果的な情報発信のあり方、また、SNSもあるんですけども、それにかかわれない方々のこともきちんと踏まえながら取り組んでいかないといけないなというふうに思っております。

2番目の防災が、キーワードということでございますけれども、まず、地域担当職員というのも昨年からようやくテーマが明確になりまして、でも昨年は担当になった直後に地震が起きてしまって、すぐに実働で避難所に寄せていただくというようなことがありまして、まだなかなか研修も進まない中、ふなれな中で取り組ませていただいたところでございます。

回を重ねる、残念ながら何度も避難所をあけないといけない状況だったんですけども、そういうことを踏まえて職員も少しなれてきたり、地域の方ともいろいろお話しできるつながりもできてきているところかなと思っておりますので、そこはまた、防災のほうでさらに研修を

重ねましていろんな形でいろんな対応ができるように、そういうふうな信頼できる職員をつくって地域のほうに、また入って、地域の方もご信頼をいただいて、地元の活動、自助の部分を広げていっていただけるような、そういうことにつなげていきたいなというふうに思っております。

最後の地域活動に興味のある方々が潜在的にたくさんいるよねというのが、この辺で数値として出てきているわけですが、本当に一部ではやはり皆様それぞれお忙しい部分というのは必ずあると思います。ただ、どうやってつながったらいいかわからないわというお答えも16%あったということです。これは先ほどのご指摘をいただいている情報発信の部分ともあわせて、中身をどうつなげていくかというのがありますけれども、それは参加していただくことによって、また、新しい活動のアイデアが出たりとかいうこともありますので、そういうところにつながり方というようなところも発信していく、広げていくというようなことを考えていけたらなというふうに思っております。

私のほうからは以上でございます。

○中井副議長 ありがとうございます。

今回の部会でいただきましたご意見を踏まえ、区役所で翌年度運営方針について検討されるということです。

さて、時間も迫ってまいりましたので、この辺で終わっていきたいと思います。

最後に議題3、その他について、区役所から説明をお願いいたします。

○畠山課長 総合企画担当課長の畠山でございます。

区政会議のスケジュール、送付資料5でございます。

本日、部会としては最終の部会ということになりまして、いよいよ今のメンバーで最後の区政会議の本会ということで7月23日、7時から9時ということで、区役所3階区民ホールで行います。

議題としましては、本日議論いただいた運営方針の自己評価であるとか今後の取組みの方向性でございます。

あと、3番目に各部会の学習会、既に開催済みでございますが掲載しておりますので、ご参照していただきたいと思っております。

以上でございます。

○中井副議長 本日の本会での議事は以上になります。

皆様、ありがとうございました。

ここからは進行を事務局にお返しいたします。

○福田係長 委員の皆様、ありがとうございました。

毎回ご案内しておりますが、委員の皆様につきましては、本日の会議での議論内容を各地域

活動協議会や所属の団体等でご説明いただき、各地域などからの意見を、また、この区政会議にフィードバックしていただきますようよろしくお願いいたします。

なお地域活動協議会の会長様には、先日、同じ資料をお渡ししております。

それでは、これをもちまして令和元年度第1回東淀川区区政会議魅力あるまちをつくろう！部会を閉会いたします。